

明日香座

開催

5月11日(土)

【対象大字】

岡・島庄・橘・立部・野口・川

原



問 健康福祉センターの休館日は外灯が消灯していて周辺が暗い。防犯のために、営業日と同様の時間帯まで点灯して明るくしていただけなのか。

(橘)

答 前向きに検討したい。

(健康づくり課長)

問 一人暮らしの高齢者として防犯に不安を感じている。檀原警察署や明日香交番との一体的な防犯の取組を積極的にしてほしい。

(橘)

答 防犯カメラの老朽化や増設に対応するため今年から二度目の補助金受付を始めている。また、地域安全パトロール隊(青パト)や警察とも連携をとりながら防犯の取組に努めたい。

(総務財政課長)

答 防犯カメラは防犯上の効果が高いと感じている。警察や消防団と連携をとっていききたい。また、災害時に逃げ遅れがないよう防災訓練も行いたい。

(村長)

問 旧役場跡庁舎が放置されており、治安が気になる。今後の予定を聞きたい。また、地域の拠点として利用できればと思う。

(岡)

答 治安については建物周囲にバリケードの設置や防犯カメラにより対応している。(総務財政課長)

答 旧役場庁舎は建物を建て直すことは難しいかもしれない場所

あるため、すぐには全部を解体をせずに、北側で飛鳥宮跡の整備検討を進めている県にガイダンスを行う場所として検討していただいている。災害に備えた物資の備蓄場所なども含め周辺の土地所有者や集落の方と議論をする時期が来ると思われる。今年度は、一部建物の解体を行う予定である。

(村長)

問 学校給食の無償化は一時的な措置か。また、今後の見通しを知りたい。

(橘)

答 これまで、2人目は半額、3人目以降は無償など、少子化対策として行ってきた。他には、医療費の支援なども行っている。どのような支援が良いのか総合的に考えていきたい。今年度の無償化は国の補助金を活用した一時的なものである。

(村長)

問 防災に備え、上水道の耐震化や防災備蓄品の状況を聞きたい。

(橘)

答 現在2,000人が1日過ごせる水や長期保存が可能なレトルト品、缶詰パン、スープ類を備蓄

している。また、避難所等で使用できる段ボールベッドや、仮設トイレなどを保管している。

(総務財政課長)

答 老朽化した水道管の更新や耐震化の必要性は認識しているが、更新費用と技術者の確保が課題である。この課題に対応するため、県では水道事業の一体化が進められている。

(地域づくり課長)

答 県域水道の一体化は技術員不足や費用がかさむ中、参加市町村が一体となつて効率的な運営ができるようにするものである。水道管更新の優先度は県と協議して、理解していただいております。奈良県全体で進めていく状況である。

(村長)

問 世界遺産登録に向けてオーパーツリズムが懸念される。(岡)

答 公共交通への利用転換を図りたいと考えている。そのため、車の来訪は避けていただく啓発が必要である。併せて駐車場を予約制にして公共交通で観光施設を巡っていただく企画券の実験や、小型のガイド付き電動自動車の導入実験を行う予定である。マイカー

は停めて移動していただき、できるだけ公共交通等で移動していただくことを考えている。

(総合政策課長)

答 観光消費額を向上させて、ゆくりと明日香に滞在していただくための取組を行っている。これがオーバーツーリズム対策につながるかと考えている。その上で、交通のシステムやイベント開催の時期など総合的な対策を試ししていきたい。

(村長)

問 **にぎわいの街づくりについて地域も携わることが可能か。** (岡)

答 飛鳥宮跡に隣接する集落で、空き家を活用した宿泊や飲食を行うことにより地域の活性化が図れるのではと考えている。地元の方と方向性を議論し、取組に向けた仕組みをつくっていききたい。

(総合政策課長)

答 水路や道路、交通などの課題を含めた全体的な議論をした上で地域からの提案をいただき、村も一緒ににぎわいの街づくりを進めていきたいと考えている。

(村長)

問 **防災無線の言葉が硬い。もう**

少しソフトな表現にできないか。

(橘)

答 できるだけ平易な言葉で皆さまにしっかりと情報が伝わるように工夫していく。

(総務財政課長)

問 **古都買入地について獣害対策の補助金は対象にならないのか。また、集落単位で設置している劣化した獣害対策の電柵や防止策についても補助金の対象にならないか。** (橘)

答 獣害対策の財源が古都買入地に活用できるか確認した上で検討する。また、支援を行う際は、集落全体の新規の取組から始め、次の段階として、面積や公共性など一定の条件を設定して、支援の幅を少しずつ広げている状況である。理解をいただきたい。状況に応じた対応を検討していく。

(村長)

問 **古都買入地の草刈りが、年2回程度しかされていない。4回程度刈っていただきたい。また、昨年6月の集中豪雨による土砂崩れの箇所がシートを被せたままになっており、対応をお願いしたい。**

(橘)

答 古都買入地は県の財産であり、県が管理を行っている。村からも要望を行い、管理予算の増額はしていただいているが、多くて年2回の草刈りで、全く管理できていない箇所もある。増加する買入地に対し、管理費が追いつかないため、管理手法の検討をお願いしているところである。危険箇所についてはその都度要望し、対応していただくようにしている。

(総合政策課長)

答 昨年6月の豪雨で崩れた立部の史跡定林寺跡の法面は国有地であり、文化庁の管理であり、復旧および保護方法については文化庁で計画しているところである。進捗確認をするとともに早急な対応を要望していく。

(文化財課長)

【その他意見】

・夜間を安全に観光してもらう取組としてはいかがか。(岡)
・観光客が多い時期は車や自転車、歩行者が入り乱れていて危険なので自転車専用レーン等を設けてはどうか。(島庄)

5月18日(土)

【対象大字】

祝戸・阪田・入谷・栢森・稲淵・上居・細川・上・尾曾・冬野・畑



問 **女淵の階段が危険な状況。来訪者の安全を確保する必要があるのではないか。遊歩道も獣害対策の柵があり入りづらい状況である。**

(栢森)

答 女淵は重要文化的景観の構成要素である。獣害対策等も考慮しながら対応を検討したい。(村長)
答 クラウドファンディング等を活用した取組も想定できるので、関係者等で実施に向けた意見交換等をお願いしたい。

(観光農林推進課長)

問 農業継承のために会議を開催したが、ほかにアドバイスがあればいただきたい。(細川)

答 次の担い手として、大学や企業など外部の力に頼る必要があると思っており、地域の皆さまと何ができるか話し合い等を重ねていきたい。(観光農林推進課長)

答 外部から来られる方は、地域のルールが分からない人が多い。そのような方々を受け入れるために、地域の皆さまにもできる限りのご協力をお願いしたい。(村長)

問 細川谷に観光用トイレが必要。また、観光資源として水車を設置してはどうか。(細川)

答 トイレについては、観光に限らず、防災等の観点も含めて総合的に検討したい。(観光農林推進課長)

答 水車については、歴史的な景観を見に来る人の受入れと、地元の水田や景観を守るための取組を一体的に展開する中で、一役を担うものであれば、今後検討できる可能性もあると思われる。(村長)

問 獣害対策補助の条件はどのように決められているのか。棚田オ

ナーの法人は対象にならなかった。(稲淵)

答 補助の優先度を判別しながら、支援の条件を制度設計当初に設定している。また、被害状況等の変化に応じて、対象範囲や条件を段階的に見直しており、今回のご意見を踏まえて見直し条件を検討していく。(観光農林推進課長)

答 地域によって状況は様々と聞いている。個別の状況を見ながら対応を検討していきたい。そのため、今年度も地域ごとの地域計画策定を進めている。(村長)

問 細川谷古墳群を活用することは考えていかないのか。(尾曾)

答 資産をどのように地域の活力につなげていくのか、皆さまから提案いただいた上で、取組を考えていきたい。(村長)

問 世界遺産登録に対する地元の機運が高まっていないように感じる。どのように考えているか。(真田)

答 今年度、世界遺産登録に向けた応援活動を紹介する仕組づくりを検討している。応援していただくような雰囲気づくりをしてい

きたい。(総合政策課長)

問 観光客等によるゴミ対策をどのように考えているか。(尾曾)

答 ゴミの持ち帰り運動なども一つである。提案をいただき、良い取組を皆さまと協力しながら行っていきたい。(総合政策課長)

問 石舞台でのイベントなどに、玉藻橋周辺に迷惑駐車があり、車が通れない。この先に民家有りなどの看板の設置を願いたい。(祝戸)

答 国・県・村の管理がまたがる場所になるので時間がかかるかもしれないが、現場を確認の上、看板等の対応を検討したい。(地域づくり課長補佐)

答 イベントを許可する国営飛鳥歴史公園飛鳥管理センターにも情報共有しておく。(観光農林推進課長)

問 飛鳥川の飛び石が傾いており、渡れない状況である。(稲淵)

答 河川は県管理となるが、文化資源であるため、村が窓口となつて対応を検討する。(村長)

問 空き家が増加している。今後のビジョンを教えてください。(稲淵)

答 空き家バンク制度を行っているが、物件登録時点で多額の改修が必要であることが多いので、早めの登録をお願いしている。商業利用も増えており、積極的に誘致している。また、老朽化して危険な物件は昨年度改正された法律に基づき対応を検討していく。空き家が増えないように引き続き取組を行っていきたい。(総合政策課長)

答 建物のリフォームに加えて、動産処理の補助もおこなっている。制度を活用いただき、空き家が増えないよう協力いただきたい。(村長)

問 非常用食料の更新等について具体的に教えていただきたい。

答 保存期限に応じて毎年購入し、更新・追加をしている。なお、保存期限が近づいた物は村のイベント等で無償配布している。(総務財政課長)

【その他意見】

・防災用水路の整備をお願いしたい。(稲淵)